

月刊「建築技術」2012年特集企画案

株式会社 **建築技術** 広告部 担当：五十嵐良春
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-10-4 千代田ビル4階
TEL 03-3222-5953 FAX 03-3222-5957 y-iga@k-gijutsu.co.jp

1月号 パッシブを活かした新しい住まい

[監修：南雄三（南雄三事務所、住宅技術評論家）]

雑誌発売日：2011年12月17日 広告申込締切日：2011年11月15日 広告原稿締切日：2011年11月25日

2008年に省エネルギー法が改正され、それに伴って省エネルギー基準も改正され、住宅の省エネ施策が急速に進展している。大手ハウスメーカーはスマートハウス、工務店はパッシブデザインハウスという構図が浮かび上がってきたが、どちらも根源は同じパッシブである。この特集では、パッシブの原理から今後のパッシブデザインの流れを読み解く。

2月号 戸建住宅基礎の液状化対策工法+修復対策工法

[監修：藤井衛（東海大学工学部建築学科教授）]

雑誌発売日：2012年1月17日 広告申込締切日：2011年12月15日 広告原稿締切日：2011年12月24日

東日本大震災では、千葉県浦安市、埼玉県久喜市などで発生した液状化被害が大きくクローズアップされた。震災後は、修復作業に手間取っている。この特集では、戸建住宅の基礎設計に求められる耐震設計、液状化のメカニズムと液状化が発生しやすい地盤の読み方、戸建住宅基礎の液状化対策工法、戸建住宅基礎の修復対策工法および実施例を取り上げる。

3月号 空間/部材/接合部

[監修：腰原幹雄（東京大学生産技術研究所准教授）]

雑誌発売日：2012年2月17日 広告申込締切日：2012年1月17日 広告原稿締切日：2012年1月25日

建築物は建築設計者や構造設計者をはじめ、多くの人たちの共同作業で構築される。この共同作業の工程を「構造空間システム」「力の流れ」「ディテール」の3工程に分類し、工程別に共同作業の多様なやり取りを想定し、多角的な視点から要求されるアイデアを図解で解説する構造デザインアイデア集。最前線で活躍する構造設計者の実務内容も紹介する。

4月号 規基準の数値は「何でなの」を探る Part3

[監修：寺本隆幸（東京理科大学名誉教授）]

雑誌発売日：2012年3月17日 広告申込締切日：2012年2月15日 広告原稿締切日：2012年2月25日

建築基準法や学会規準、JISなどに規定されている数値で、実務上で直面する「なぜこの数値なのか」と疑問が残る数値を取り上げ、その数値の根拠、実務上での適正な値や範囲、数値が規定された経緯などを織り交ぜて解説する。構造をメインに、材料・施工・建築計画・防耐火・環境など、ジャンル別に整理をして、読み解きやすい事典形式で紹介する。

5月号 実務に役立つ耐震補強のワンポイント

[監修候補：廣澤雅也（工学院大学名誉教授）]

雑誌発売日：2012年4月17日 広告申込締切日：2012年3月15日 広告原稿締切日：2012年3月22日

耐震補強の設計ならびに工事を実践するにあたり、知っておかなければならないこと、陥りやすい間違い、判断に困ること、気を付けなければならないことなどの視点から、耐震補強の実務に役立つワンポイントを抽出し、絵解きで解説する。耐震補強の設計ならびに工事を実践する建築技術者が困ったときに、知恵袋として活用して、役立ててほしい。

6月号 非構造部材の耐震性を設計・施工する（仮題）

[監修候補：清家剛（東京大学大学院准教授）]

雑誌発売日：2012年5月16日 広告申込締切日：2012年4月15日 広告原稿締切日：2012年4月25日

東日本大震災の地震被害は、津波による建物被害のセンセーショナルな映像が今も記憶に刻まれている。その他には、非構造部材の天井が落下して犠牲者が出るなど、多くの地域や建物で非構造部材の被害が顕著に見られた。この特集では、非構造部材の天井の耐震化は国のカイドラインを基に、またExp.Jなどの非構造部材の耐震化施工を詳細に解説する。

※特集テーマならびに監修者および特集の順番は、変更になる可能性があります。あらかじめ御了承下さい。

※ホームページからもご覧いただけます。

月刊「建築技術」2012年特集企画案

株式会社 建築技術 広告部 担当：五十嵐良春
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-10-4 千代田ビル4階
TEL 03-3222-5953 FAX 03-3222-5957 y-iga@k-gijutsu.co.jp

7月号 建築技術者に必要な擁壁設計の基本知識とトラブル回避術（仮題）

【監修候補：藤井衛（東海大学工学部建築学科教授）】

雑誌発売日：2012年6月16日 広告申込締切日：2012年5月15日 広告原稿締切日：2012年5月25日

建築技術者を対象に、新設擁壁を設計するときに必要な最小限の基本知識と、既存擁壁の健全度を評価するチェックポイントを解説します。また、新設擁壁や既存擁壁が不十分なために起こり得るトラブルを、回避するための術を具体的な事項に基づいて紹介する。

8月号 耐震補強による既存木造住宅の耐力UP術（仮題）

【監修候補：大橋好光（東京都市大学工学部建築学科教授）】

雑誌発売日：2012年7月17日 広告申込締切日：2012年6月15日 広告原稿締切日：2012年6月22日

耐震補強の実務では、構造の専門家でない設計者・施工者が実際に多く携わっているのが実状である。構造の専門外の実務者に対して、どうすれば既存木造住宅の耐力が向上するのか、設計・施工の両面からわかりやすく整理して解説を行い、耐震補強の実務を進めるための勘所を高め、最適な耐震補強のメソッドを解説する。

9月号 建築実務に役立つ『図』『表』事典（仮題）

【監修候補：寺本隆幸（東京理科大学名誉教授）】

雑誌発売日：2012年8月12日 広告申込締切日：2012年7月15日 広告原稿締切日：2012年7月25日

建築設計や構造設計を進めるには、設計規準に従って設計しなければならない。その際に、「図」や「表」に遭遇するが、これらの図や表を利用するだけで、簡潔にまとめられた図や表の意図の深層を理解しなければ、図や表を活用したことにはならない。この特集では、図や表が内包する意図を解説することにより、実務設計への有益な活用の仕方を伝授する。

10月号 『建築工事検査－鉄筋工事・型枠工事・RC工事』の早わかり（仮題）

【監修候補：蟹江宏剛（芝浦工業大学工学部建築学科教授）】

雑誌発売日：2012年9月17日 広告申込締切日：2012年8月19日 広告原稿締切日：2012年8月25日

2005年の暮れに耐震強度偽装事件が発覚し、専門分化への対応、建築確認申請の厳格化、罰則の強化などが図られた。その一方で、基幹技能士不足が課題になっている。この特集では、施工精度の向上を意図して、工事監理の側面から「鉄筋工事」「型枠工事」「RC工事」で実施される工事検査を取り上げ、工事監理上の重要なポイントを詳細に解説する。

11月号 初歩から学ぶ [鋼構造の座屈]（仮題）

【監修候補：竹内徹（東京工業大学大学院建築学専攻教授）】

雑誌発売日：2012年10月17日 広告申込締切日：2012年9月15日 広告原稿締切日：2012年9月26日

この特集では、鋼構造における座屈について、その種類や現象など初歩的な事柄を解説し、座屈に関する諸問題で規基準などでカバーされていない事柄に留意して解説する。座屈耐力が問題となる建築物や、特殊な構造の建築物などの設計上の注意点を、事例に基づいて解説する。崩壊例は海外の事例を交えて紹介する。建築実務者に有益な情報を提供する。

12月号 風大全（仮題）

【監修候補：田村幸雄（東京工芸大学工学部建築学科教授）】

雑誌発売日：2012年11月17日 広告申込締切日：2012年10月17日 広告原稿締切日：2012年10月25日

風は、建築と日常生活の快適性から暴風時の安全性まで幅広くかつ密接に関係している。従来、耐風設計は安全性の確保のみを目標にしてきたが、近年は質を重視する時代になり、使用性への配慮も大切な要因になっている。この特集では、気象・気候、設計荷重、構造形態、2次部材、環境・制御のカテゴリーに分け、風をいろいろな側面から解説する。

※特集テーマならびに監修者および特集の順番は、変更になる可能性があります。あらかじめ御了承下さい。

※ホームページからもご覧いただけます。